

本会議における論議の状況（令和5年第1回県議会定例会）

参考2

No	質問要旨	答弁要旨
1	<p>「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」におけるこれまでの検討内容及び令和5年度末の利活用の全体像策定に向けた今後の検討スケジュールについて示していただきたい。</p>	<p>「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」については、昨年12月23日に第1回検討委員会を、先月25日に第2回検討委員会を開催し、同エリアの利活用に係るこれまでの検討経過や今後の進め方等について御説明し、活発な御議論を頂いたところ。</p> <p>委員からは、シビックプライドとしての景観への配慮や中長期的な視点からの利活用の検討、中心市街地との連携等に関する御意見を頂くとともに、多くの委員から、県民の憩いの場としてウォーターフロントパークは保全すべきとの御意見が出されたところ。</p> <p>また、同委員会においては、同エリアの利活用の全体像の作成に向けた検討の参考とするため、同エリアの利活用のアイディアについて、2月10日から4月17日まで御意見を募集しているところである。</p> <p>今後は、県外視察、利活用のアイディアに関する意見募集の応募者によるプレゼンテーション、ゾーニング素案の協議・検討、ゾーニング案のとりまとめなどを予定しており、県としては、令和5年度末を目途に、本港区エリアの利活用の全体像の策定を目指したいと考えている。</p>
2	<p>知事は、鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会でのご意見から、同エリアの将来像とスポーツ・コンベンションセンターについてどのようにイメージしているか、知事の求める姿はどのようなものか示していただきたい。</p>	<p>鹿児島港本港区エリア一帯の利活用の将来像については、グランドデザインにおいて、年間365日、賑わう拠点を形成するという開発コンセプトが既に示されているところであり、鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会において、同コンセプトに沿って、県全体に経済効果を波及させていくという視点を念頭に置いて、様々な御意見をお聞きしながら、同エリアの利活用の全体像について検討していただいているところである。</p> <p>これまでに開催した第1回及び第2回検討委員会では、活発な御議論をいただいたところであり、委員からは、シビックプライドとしての景観への配慮や中長期的な視点からの利活用の検討、中心市街地との連携等に関する御意見を頂くとともに、多くの委員から、県民の憩いの場としてウォーターフロントパークは保全すべきとの御意見が出されたところである。</p> <p>今後、県としては、同委員会における検討状況を踏まえ、県民の皆様の御意見などもお聞きしながら、令和5年度末を目途に、同エリアの利活用の全体像の策定を目指したいと考えている。</p> <p>スポーツ・コンベンションセンターについては、県民にとって屋内競技の中核をなし、子どもや青少年だけでなく、高齢者も、あらゆる世代の、また、障害者や県内各地の県民がスポーツに親しむとともに、アスリートにとって、ここから全国・世界に羽ばたいていくシンボリックな施設として整備に向けて取り組んでまいりたいと考えている。</p> <p>また、それに加えてコンサート・イベント等を通じて、県内外からの来訪者で賑わい、感動を与える施設として、さらに、本港区エリアの立地を活かし、施設利用者だけではなく県民や観光客が気軽に立ち寄れる開かれた施設として、中心市街地との回遊性を高めることにより、大きな経済波及効果をもたらす施設として、永年にわたり県民の皆様に親しまれ、誇りとなる施設となるよう、着実に整備に向けた取組を進めてまいりたいと考えている。</p>

No	質問要旨	答弁要旨
3	<p>県民との対話を基本に政策を進めようとする知事の姿勢を全うすべく、知事は、検討委員会が実施するプレゼンテーションを直接聞いてはどうかと考えるが、それについての見解を示していただきたい。</p>	<p>県では、県パブリック・コメント制度実施要綱に基づき、県の政策形成過程における公正の確保と透明性の向上を図るとともに、県民の多様な意見を県の意思決定過程に反映させることで、県民参加による開かれた県政を推進することを目的として、県の基本的な政策・施策に関する構想及び計画や、広く県民の利用に供される大規模な施設の建設に係る基本計画等について意見を募集し、提出された意見を考慮した上で計画等の決定を行うこととしている。</p> <p>スポーツ・コンベンションセンターについても、同要綱に基づき、基本構想（案）への意見募集やパブリック・コメントにより、県民の皆様様の御意見を伺い、県としての考え方を整理した上で、県議会において御論議をいただき、頂いた御意見を踏まえて修正を行い、その整備について了承を経て、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を整備予定地とした基本構想を策定したところである。</p> <p>鹿児島港本港区エリアの利活用の検討に当たっては、まちづくりの観点などから、多様な利活用のアイデアがありうると考えており、幅広い世代や多様な方々の様々な御意見をお聞きすることとし、そのうち詳しくお聞きする必要があると考えられるものについては、プレゼンテーションを実施することとしたところである。</p> <p>このようなことから、同委員会では、同エリアの利活用の全体像の作成に向けた検討の参考とするため、同エリアの利活用のアイデアについて、2月10日から4月17日まで御意見を募集するとともに、応募のあった提案の中から、検討委員会で協議の上、プレゼンテーション参加者を選定し、公開でプレゼンテーションを行っていただくこととしている。</p> <p>なお、今回の意見募集の中で、スポーツ・コンベンションセンターについても、基本構想において、配慮事項として整理された、今後具体的な検討を進めることになる「開かれた施設としての整備」や「中心市街地との回遊性」、「施設のデザイン」などに関する御意見があれば頂きたいと考えている。</p> <p>本港区エリアの利活用については、これまで、知事とのふれあい対話や知事へのたよりなど、様々な場面で御意見を直接お聞きしてきたところであるが、今回のプレゼンテーションについても、時間が許す限り、できるだけ直接お聞きしたいと考えている。</p>

No	質問要旨	答弁要旨
4	<p>鹿児島商工会議所から「鹿児島市中心市街地及びウォーターフロントを中心としたまちづくりビジョンに関わる提言」がなされ、同会議所の代表も検討委員会のメンバーになっているが、この提言についてどのように受け止め、取り扱うのか示していただきたい。</p>	<p>鹿児島商工会議所の提言については、官民一体となったまちづくりの推進に向け、議論のたたき台とするため、具体的な考え方をまとめられたものと認識している。</p> <p>同提言においては、にぎわい創出を牽引する、天文館ゾーン、ドルフィンポート跡地・北ふ頭ゾーン、住吉町ゾーンの3つの賑わい核を形成することとし、天文館ゾーンでは、飲食・物販等の機能の集積を活かし、鹿児島の食文化や地域資源の魅力を高める機能の導入を、ドルフィンポート跡地・北ふ頭ゾーンでは、スポーツ・コンベンションセンターを踏まえた健康・憩いの機能の導入や公園機能の充実を、住吉町ゾーンでは、コンベンション機能や観光文化機能の導入を図ることにより、3つの核が連携して一体的なまちづくりを推進するとの方向性ととも、具体的な事業化イメージが提案されているものと考えている。</p> <p>同提言については、検討委員会の検討要素の一つとして、同エリアの利活用の全体像の議論が進められるものと考えている。</p>
5	<p>鹿児島市が住吉町15番街区をサッカー等スタジアムの整備予定地とした場合に、県としてのまちづくりの構想はどうなっていくのか示していただきたい。</p>	<p>住吉町15番街区については、令和元年6月の定例会において、「鹿児島市から協議があれば、サッカー等スタジアムの候補地として、前向きに検討することも可能ではないか」との県の考え方を示したところ。</p> <p>一方、検討委員会では、商工会議所から、同地において、MICE施設や観光施設等を整備するとの提言が示されている。</p> <p>このため、同委員会においては、これらの利活用のアイデアを検討要素として、引き続き、利活用の全体像の議論が進められるものと考えている。</p> <p>仮に、スポーツ・コンベンションセンター基本構想において同センターの駐車場の整備予定地としている住吉町15番街区が、同スタジアムやMICE施設等の整備予定地となった場合は、同センターの駐車場は周辺の県営駐車場の立体駐車場化等を検討することになると考えている。</p>
6	<p>県議会での議論も踏まえ、フルオープンで2回開催された検討委員会の状況とユーチューブを活用して公開にした効果について示していただきたい。</p>	<p>検討委員会については、12月議会で御指摘をいただいたことを踏まえ、一般傍聴者の定員を12人から70人へ増やすとともに、ユーチューブ配信を行うこととしたところ。</p> <p>傍聴者については、第1回は27人、第2回は11人の傍聴があったところ。</p> <p>また、議事録については、ホームページ上での掲載を予定していたが、より多くの方にユーチューブによるインターネット配信の視聴の機会を確保してほしいとの要望を踏まえ、これに加えて、開催後のアーカイブ配信も実施し、ライブ配信と合わせて、2月22日現在で、第1回は861回、第2回は698回の視聴があり、開催日に会場に来られなかった方も含めて、多くの方々に視聴頂けているのではないかと考えている。</p> <p>検討委員会においては、今後も、引き続き、会議をフルオープンにするとともに、ユーチューブ配信を活用し、より多くの方々が視聴できるように透明性を確保してまいりたいと考えている。</p>

No	質問要旨	答弁要旨
7	<p>知事は、新たな総合体育館の整備について、ドルフィンポート跡地で進めたいとのことであるが、鹿児島市が検討しているサッカー等スタジアムについて、ドルフィンポート跡地及び住吉町15番街区へ整備することに、賛成であるのか否か知事の考え方を示していただきたい。</p>	<p>鹿児島港本港区エリア一帯の利活用については、スポーツ・コンベンションセンターの基本構想や港湾としての機能を踏まえつつ、県全体に経済効果を波及させていくという視点を念頭に置いて、同エリアを巡る様々な御意見をお聞きしながら、ランドデザインの開発コンセプトに基づき、同エリアの利活用の全体像について検討しているところである。</p> <p>この中で、サッカー等スタジアムについては、検討要素の一つとして議論が進められており、これまで開催した検討委員会において、市が公表した同スタジアムに係る中間報告の内容について説明がなされた。</p> <p>市が公表した同スタジアムに係る最終報告によると、ピッチ・スタンドの年間を通した日数単位稼働率が42.2パーセントであり、年間の半分にも満たない稼働状態であることを踏まえると、年間365日賑わう拠点を形成することを開発コンセプトとしたランドデザインとの整合性をどのように図るかといった課題があると考えている。</p> <p>ドルフィンポート跡地における整備については、検討委員会において、委員から、ウォーターフロントパークは保全すべきだとの御意見や、景観への配慮等に関する御意見をいただいたことに加え、代替緑地の確保、臨港道路の付け替え、港湾計画の変更等の多くの課題があり、厳しい状況にあると考えている。</p> <p>住吉町15番街区における整備については、令和元年6月の定例会において、「鹿児島市から協議があれば、サッカー等スタジアムの候補地として、前向きに検討することも可能ではないか」との県の考え方を示したところである。市の最終報告によると、棧橋構造による敷地の拡張が計画されており、その場合、港湾計画の変更等の課題があると考えている。また、同地においては、鹿児島商工会議所からMICE施設や観光施設等を整備するとの提言が示されている。</p> <p>以上のように多くの課題等があるが、サッカー等スタジアムについては、現在の検討委員会において検討要素の一つとして検討がなされており、今後も引き続き議論が進められ、同エリアの利活用の全体像がとりまとめられるものと考えている。</p>
8	<p>周辺に住む住民が365日行きたくなる様なエリアにするため、周辺住民へのニーズ調査を今後行う予定があるか示していただきたい。</p>	<p>鹿児島港本港区エリア一帯の利活用については、同エリアの利活用に係る検討委員会において、年間365日、賑わう拠点を形成するというランドデザインの開発コンセプトに沿って、様々な御意見をお聞きしながら、同エリアの利活用の全体像について検討しているところ。</p> <p>この中で、同エリアが、周辺住民にとっても日常的に行ってみたい場所となることも重要な視点だと考えている。</p> <p>同委員会では、委員から、地元の人が大事にする街に観光客が訪れるという近説遠来の考え方が大事との御意見や、観光戦略を立てていく時に住民の意向が重要であるとの御意見が出されたところである。</p> <p>よって、同エリアの利活用の検討に当たっては、周辺住民の皆様のニーズも含め、幅広い世代や多様な方々の様々な御意見をお聞きすることとしており、2月10日から4月17日まで御意見を募集しているところ。</p> <p>意見募集に当たっては、周辺住民の皆様のニーズをより広く把握できるよう、意見募集について周辺住民の皆様にも周知を図ってまいりたいと考えている。</p>

No	質問要旨	答弁要旨
9	<p>人口流出が叫ばれる鹿児島県で今後鹿児島港本港区が再開発されることにより、定住の場所として選ばれるきっかけづくりになる仕組みづくりについての考えを示していただきたい。</p>	<p>鹿児島港本港区エリアのグランドデザインでは、交流人口の増加を期待し、年間365日、賑わう拠点を形成することを開発コンセプトとし、まちづくりを進めることとしている。</p> <p>同エリア一帯の利活用については、検討委員会において、このグランドデザインをベースに、県全体に経済効果を波及させていくという視点を念頭に置いて、様々な御意見をお聞きしながら、同エリアの利活用の全体像について検討していただいているところ。</p> <p>これまでに開催した2回の検討委員会では、委員から、シビックプライドが重要との御意見や、鹿児島商工会議所から、「定住の場所として選ばれる都市」として、定住人口の増加も見据えたまちづくりについての提言が示されたところ。</p> <p>今後、検討委員会において、県民のニーズを踏まえた同エリアにおける導入機能やゾーニングの在り方、景観への配慮などの検討が進められるものと考えている。</p> <p>県としては、同検討委員会から示される同エリアの利活用の全体像を踏まえ、県民が誇りを持ち、定住の場所として選ばれるまちづくりについて、鹿児島市や関係団体と連携を図りながら取り組んでまいりたいと考えている。</p>
10	<p>まちづくりをしていく上では、幅広い分野での意見が必要である。また、ユニバーサルデザインのまちづくりをしていくことが今後求められてくる。子育て世代または子育て支援をしている方、障がい者団体やユニバーサルデザインの専門家を検討委員会のメンバーに追加する考えはないか、知事の見解を示していただきたい。</p>	<p>鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会においては、様々な御意見をお聞きしながら、同エリアの利活用の全体像の検討を行うこととしており、具体的なまちづくりについては、同エリアのどの場所にどういった機能を持たせるかというゾーニングを取りまとめた後に行うことと考えている。</p> <p>同委員会の委員については、同エリアの利活用の全体像を検討する観点から、同エリアに関連する行政や経済団体等の代表者や、まちづくりや都市計画等の専門的な知見を有する方々について選定した結果、現在の委員構成となったところ。</p> <p>県としては、同委員会での利活用の全体像に係る検討結果を踏まえ、同エリア一帯のまちづくりを具体的に進める段階において、障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインするユニバーサルデザインの視点を持って対応してまいりたい。</p>

No	質問要旨	答弁要旨
11	<p>今後新しい建物やまちづくりにおいては、ユニバーサルデザインが推進されていくと思うが、知事は、ユニバーサルデザインのまちづくりについて、どのような街を考えているか、知事の見解を示していただきたい。</p>	<p>県においては、「かごしま未来創造ビジョン」に「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島」を掲げ、本県の都市づくりの考え方や都市計画のあり方等を示す「鹿児島県都市計画基本方針」においても「ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた暮らしやすい安全な都市づくり」を基本目標の一つとして、まちづくりを進めることとしている。</p> <p>県としては、検討委員会での検討結果を踏まえ、具体的な施設整備を含めた本港区エリア一帯のまちづくりを進めていく段階において、ユニバーサルデザインのまちづくりを実現していきたいと考えている。</p>
12	<p>知事は、鹿児島商工会議所の「鹿児島市中心市街地及びウォーターフロントを中心としたまちづくりビジョンに関わる提言」をどのように受け止め、今後どのように取り組まれるのか示していただきたい。</p>	<p>鹿児島商工会議所の提言については、官民一体となったまちづくりの推進に向け、議論のたたき台とするため、具体的な考え方をまとめられたものと受け止めている。</p> <p>同提言においては、にぎわい創出を牽引する、天文館ゾーン、ドルフィンポート跡地・北ふ頭ゾーン、住吉町ゾーンの3つの賑わい核を形成することとし、天文館ゾーンでは、飲食・物販等の機能の集積を活かし、鹿児島の食文化や地域資源の魅力を高める機能の導入を、ドルフィンポート跡地・北ふ頭ゾーンでは、スポーツ・コンベンションセンターを踏まえた健康・憩いの機能の導入や公園機能の充実を、住吉町ゾーンでは、コンベンション機能や観光文化機能の導入を図ることにより、3つの核が連携して一体的なまちづくりを推進するとの方向性が示されている。</p> <p>また、具体的な事業化イメージとして、北ふ頭には離島航路の移設と旅客ターミナル等のエンターテインメント施設としての活用が、住吉町15番街区にはMICE施設や観光施設の整備などが提案されている。</p> <p>同提言については、検討委員会の検討要素の一つとして、同エリアの利活用の全体像の議論が進められるものと考えている。</p>